

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (中国)	◎	競艇場（企画営業担当）	・3か月後に女子レースが開催されるため、売上が増加する。
	○	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・新年度に入る頃には新型コロナウイルス感染症も終息し、景気もやや良くなっている。
	○	一般小売店〔靴〕（経営者）	・リピート客からの問合せだけでなく、新規客からの単価の高い商品への問合せも少しずつ増加してきているため、今後、景気はやや良くなる。
	○	百貨店（営業企画担当）	・現状が続けば、帰省のマーケットも回復してくる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの動向次第であるが、人の動きは良くなっており、今後、景気はやや良くなる。
	○	コンビニ（副地域ブロック長）	・新型コロナウイルス新変異株の脅威はあるが、新型コロナウイルスの影響がピークだった前年をベースにすると、しばらくは来客数や売上の増加が続く。
	○	乗用車販売店（営業担当）	・今後、新型車の試乗車がそろい、来客数が増加するため、景気はやや良くなる。
	○	乗用車販売店（営業担当）	・新型車が発表されること、決算期に入ること、車の生産が増加していることなどから、今後、景気は多少上向く。
	○	自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いているため、そろそろ景気が上向く。
	○	その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が減少するため、今後、景気はやや良くなる。
	○	バー（経営者）	・新型コロナウイルス感染症が終息すれば、景気はやや良くなる。
	○	観光型ホテル（営業担当）	・県民割の延長や隣接県の利用対象者数の増加で、景気はやや良くなる。
	○	都市型ホテル（企画担当）	・Go To Travelキャンペーンの再開で、景気はやや良くなる。
	○	タクシー運転手	・現状が続けば、景気の持ち直しも早くなる。
	○	タクシー運転手	・新型コロナウイルス新変異株の動向次第だが、観光客が増加し、県民割等も延長になったことから、観光業や運輸業は景気が良くなっていく。
	○	タクシー運転手	・新型コロナウイルス新変異株の動向が気になるが、現状では売上がかなり改善しているため、景気はやや良くなる。
	○	タクシー運転手	・新型コロナウイルス新変異株の影響を受けなければ、景気はやや良くなる。
	○	放送通信サービス（総務経理担当）	・新型コロナウイルス新変異株の動向次第だが、ここ数か月、家計の支出能力が上昇傾向にあるため、今後、景気はやや良くなる。
	○	通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルス新変異株の影響で、予断は許されないものの、3か月後に景気が現状より悪化することはない。新型コロナウイルス感染症が終息に向かえば、消費は少しずつ元に戻っていく。
	○	通信会社（経理担当）	・光サービスの提供エリア拡張に伴い、しばらくは加入件数が増加する。
○	テーマパーク（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いているため、景気はやや良くなる。	
○	住宅販売会社（従業員）	・アフターコロナに入った感じがあり、今後、いつでもワクチンの接種や薬による治療ができる状況になれば、景気はやや良くなる。	
○	住宅販売会社（営業所長）	・現在、日常の生活に徐々に戻りつつあり、2022年は景気は全体的に回復する。	
□	商店街（理事）	・新型コロナウイルス新変異株の影響が出てくるので、景気は変わらない。	
□	商店街（代表者）	・売上が回復していない状況で、新型コロナウイルス新変異株の感染が拡大すると、売上が再び減少する。	
□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの動向次第で、景気が悪化する可能性があるが、現状から判断すると、景気は良い状況が続く。	
□	一般小売店〔茶〕（経営者）	・冬場は雪が降ることから、景気はこのまま低調に推移する。	

<input type="checkbox"/>	一般小売店 [印章] (経営者)	・客の新型コロナウイルス新変異株への警戒感が強いいため、景気は良くなるらない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店 [洋裁附属品] (経営者)	・例年1～2月は閑散期なので、景気は良くなるらない。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (経理担当)	・来客数は回復しているが、豊富な商品の供給やサービスの改善などがなければ、売上の大幅な回復はない。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (営業担当)	・ライフスタイルや価値観の変化により、客の購買意欲が低下しているなか、新型コロナウイルスの先行きも不透明なため、景気は良くなるらない。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (営業担当)	・現在、売上が前年を10%上回る状況で、これ以上は改善しない。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (売場担当)	・新型コロナウイルス新変異株の動向次第であるが、景気が現在より劇的に改善する可能性も大幅に悪化する可能性もない。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (外商担当)	・新型コロナウイルス新変異株により新規感染者数がどう動くかは短期的には明らかでないが、これまでも経験してきているので、現状は維持する。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (外商担当)	・客の購買意欲が改善し、来店頻度も増加しているが、新型コロナウイルスの先行きが不透明なため、景気は一進一退が続く。
<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	・現状は新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いているが、先行きは不透明である。予報では、来年が今年よりも寒い冬となることから、食品については、有利な条件となるが、それ以外に景気が大幅に回復する材料が見当たらないため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	・年末年始の動き次第であるが、来年は今年よりは景気は堅調に推移する。
<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、行動制限がなくなり、客が買い回りをするようになったため、今後も来客数の減少が続く。
<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	・現状の購買行動は変化しない。
<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	・18歳以下の子供への臨時特別給付金程度では景気の大きな回復はない。
<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	・3か月後も現在同様、新型コロナウイルス禍にあると考えられるため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー (総務担当)	・人の動きが落ち着き、来客数も横ばいとなる。
<input type="checkbox"/>	スーパー (販売担当)	・新型コロナウイルスの新規感染者数が再び増加傾向にならなければ、景気は良くなる。
<input type="checkbox"/>	スーパー (業務開発担当)	・食品の相次ぐ値上げや節約志向で、客が必要最小限の買物しかなくなっているため、景気は良くなるらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー (財務担当)	・加工食品などの値上げが続き、客が低価格商品を求めて買い回りするため、来客数の前年割れが続く。
<input type="checkbox"/>	スーパー (営業システム担当)	・新型コロナウイルスの感染拡大がなければ、景気は現在の水準を維持する。
<input type="checkbox"/>	コンビニ (エリア担当)	・新型コロナウイルス新変異株の影響を受けず、競合店対策ができれば、売上が増加する。
<input type="checkbox"/>	コンビニ (支店長)	・行動や生活様式の変化が定着しており、元には戻らないため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店 (代表)	・日常生活に戻り、積極的に出掛ける人がいる一方で、出掛けないことに慣れてしまった人もいるため、効果的な経済対策が行われなければ、新型コロナウイルス流行前の景気に完全に戻ることは難しい。
<input type="checkbox"/>	家電量販店 (店長)	・18歳以下に臨時特別給付金が給付されるが、年齢制限があり、家電の購入につながらないことから、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店 (店長)	・新型コロナウイルス第6波の到来が予想されることに加え、臨時特別給付金も貯金にまわり、余り効果が得られない。12月の売上は最低だが、1～2月に改善するとも思えない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店 (企画担当)	・18歳以下を対象とした臨時特別給付金の給付に期待しているが、対象が国民全員でなく、規模が小さいため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店 (販売担当)	・初売りや決算期に期待したいが、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (店長)	・生産計画が長期化しており、大きな変化は考えられない。

<input type="checkbox"/>	その他専門店 [時計] (経営者)	・ウィズコロナでの経済活動がどうなるか、来年前半も商売が続けられるかを考察しているが、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [土産物] (経営者)	・新型コロナウイルスの動向次第であるが、楽観視できない。原料費の高騰などもあり、レストランやテイクアウト事業の経営環境はますます厳しくなる。
<input type="checkbox"/>	その他小売 [ショッピングセンター] (支配人)	・景気は新型コロナウイルスの動向にも左右されるが、新型コロナウイルス新変異株の拡大が予想されているため、前年並みで推移するものの、新型コロナウイルス流行前の水準まで回復するには、もう少し時間が掛かる。
<input type="checkbox"/>	その他小売 [ショッピングセンター] (管理担当)	・目的買いの客が多く、ついで買いなど余分な出費は抑えているようで、財布のひもは引き続き固い。新型コロナウイルスの先行きが不透明であるため、景気が大幅に良くなることはない。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン (事業戦略担当)	・新型コロナウイルス新変異株の出現に合わせて、キャンセルの間合せも入っているため、今後、景気は良くなる見込みはない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (経営者)	・ウィズコロナの環境は変わらないので、新型コロナウイルスの動向に左右されながらも、現在の消費を維持する。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (店長)	・新型コロナウイルス新変異株の拡大が懸念されるが、客が自粛に疲れていることから、感染が急速に拡大しなければ、好調を維持できる。
<input type="checkbox"/>	その他飲食 [パーキングエリア内レストラン]	・あと2年は景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル (企画担当)	・需要が回復しつつあり、この勢いでGo Toキャンペーンの再開時に集客増につなげたいところであるが、新型コロナウイルス新変異株の影響で、景気にブレーキが掛かることを懸念している。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル (総支配人)	・新型コロナウイルス新変異株の影響で、先行きが不透明なもの、Go To Travelキャンペーン、自治体の支援策、ワクチン接種や経口薬の普及などにより一定の経済活動が維持される。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店 (支店長)	・現在、4月までの予約が入り始め、需要回復が期待できるが、個人とは違い、団体は当面は厳しい状況が続く。
<input type="checkbox"/>	通信会社 (営業担当)	・景気は下げ止まった状態で推移する。
<input type="checkbox"/>	通信会社 (販売企画担当)	・新型コロナウイルス新変異株による外出自粛により、景気は良くなる見込みはない。
<input type="checkbox"/>	通信会社 (工事担当)	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク (管理担当)	・国民目線の政策がないため、景気は良くなる見込みはない。
<input type="checkbox"/>	観光名所 (管理担当)	・新型コロナウイルスの動向次第であるが、まん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言の発出などが無い限り、景気は現状を維持する。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場 (営業担当)	・現在は個人の利用が増加し、集客を維持しているが、正常な状態ではない。団体予約が動き出せば、単価も伸びるため、以前の予約状況に戻る。
<input type="checkbox"/>	美容室 (経営者)	・年末で慌ただしくはなっているが、景気が回復したからではなく、客の動向が読めない状況で、今後も景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	美容室 (経営者)	・新型コロナウイルス新変異株の影響で、客の行動が再び慎重になっているので、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	設計事務所 (経営者)	・年度末に向けて、官からの新たな発注予定はなく、民間工事も全体のコストが上昇しているなかで、なかなか前に進められない状況下にあるため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	設計事務所 (経営者)	・住宅ローン減税が引き下げられるなど、景気が上向く要素がないため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	設計事務所 (経営者)	・客が建築価格が安定する時期を見極めて意思決定しようとしているため、受注につながらず、景気は変わらない。
▲	商店街 (代表者)	・年末で客の消費意欲が高まっているようで、歳末セールなどの特典を利用してまとめ買いする客が見られたが、来年になれば、その動きは減少する。
▲	商店街 (代表者)	・客が欲しい商品があっても、バーゲンセールまで待ち、バーゲンセールになっても、商品を買わないという状況が続いているため、景気はやや悪くなる。

	▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス新変異株に対するマスコミの過剰な報道やデータがそろっていない段階での識者の臆測が経済を停滞させる。
	▲	一般小売店〔食品〕（経営者）	・原材料の値上げで商品の仕入価格が上昇し、平均単価が上がっているものの、販売数量は前年を下回っている。先行き不安で客の財布のひもが更に固くなっているため、景気はやや悪くなる。
	▲	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が懸念され、来客数が減少するリスクが高い。また、昨今の売上不振から各メーカーが商品を減産しており、今後も減産が加速する見込みである。
	▲	百貨店（販売計画担当）	・個人所得の低下や生活に関わる商品の価格の高騰で、景気はやや悪くなる。
	▲	スーパー（販売担当）	・景気は回復の兆しをみせていたが、新型コロナウイルス新変異株の市中感染報道が来客数に影響を与え始めているため、今後、景気はやや悪くなる。
	▲	スーパー（販売担当）	・景気が良くなる材料が見当たらず、新型コロナウイルス感染症の終息も見込めないことから、景気はやや悪くなる。
	▲	コンビニ（エリア担当）	・1月から値上げをするため、販売量が減少する。
	▲	乗用車販売店（業務担当）	・新型コロナウイルスが再び生産工場に影響を与えてきており、新型コロナウイルス新変異株の今後の動向も不透明なことから、景気はやや悪くなる。
	▲	自動車備品販売店（経営者）	・年明けに新型コロナウイルス新変異株の新規感染者数が増加し、新型コロナウイルス第6波が到来すると、個人消費が落ち込む。
	▲	住関連専門店（営業担当）	・来客数が減少し、購入単価も下がっている状況で、新型コロナウイルス新変異株が出現し、新型コロナウイルスの先行きが不透明となったため、景気はやや悪くなる。
	▲	その他専門店〔布地〕（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が来年1月から増加することが予想され、客が外出を控えるため、景気はやや悪くなる。
	▲	一般レストラン（経営者）	・入試や入学等に伴う教育費の支出、ガソリンや食品等の価格の上昇などで、今後、家計の負担が増加し、節約ムードが広がることから、景気はやや悪くなる。
	▲	観光型ホテル（副支配人）	・新型コロナウイルス新変異株の感染が徐々に広がり始め、年末年始の宿泊の予約のキャンセルが出ている。今後、更に影響が出てくるため、景気はやや悪くなる。
	▲	タクシー運転手	・冬場は人の動きが悪くなる。新型コロナウイルスの先行きも不透明であるため、景気はやや悪くなる。
	▲	通信会社（広報担当）	・新たな収入源が見込めないままであるので、昔と同じような景気の回復はまだ見込めない。
	▲	テーマパーク（業務担当）	・11～12月にかけて、過去にない活発な動きとなっている。今後もこの流れで推移すれば良いが、少し落ち着くか、あるいは再び客が外出を控えると予測される。
	▲	観光名所（館長）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、景気はやや悪くなる。
	▲	住宅販売会社（営業担当）	・年末年始休暇の影響で、今後、新型コロナウイルス新変異株が流行する可能性があるため、景気はやや悪くなる。
	×	乗用車販売店（統括）	・2月くらいまで主要車種の販売停止が続くため、景気はかなり厳しくなる。
	×	一般レストラン（経営者）	・現在が年末でたまたま飲食店にとって良い状況であるだけで、今後、これ以上は良くならない。
	×	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の影響で、景気は悪くなる。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルス感染症が終息し、人々の生活様式が新型コロナウイルス流行前に戻れば、客の来店頻度も増加するが、今のままでは景気は悪くなる。
企業 動向 関連 (中国)	◎	輸送用機械器具製造業（経営者）	・地元完成車メーカーの生産が回復基調にあるため、今後も忙しくなる。
	◎	通信業（営業企画担当）	・年度内に予算を使い切るための動きや来年度早々の発注に向けての動きが活発化することから、景気は良くなる。
	○	輸送業	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しても企業や個人の対応に余り変化がなく落ち着いているため、今後、景気はやや良くなる。
	○	不動産業（総務担当）	・賃貸住宅の需要時期になるため、景気はやや良くなる。

	□	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の影響で、人々が行動を見合わせるようになると、景気が厳しい状況に陥る。
	□	食料品製造業（総務担当）	・原料価格の高騰が続いているため、景気は良くならない。
	□	化学工業（総務担当）	・原燃料の価格高騰が若干落ち着いているので、景気は現状を維持する。
	□	化学工業（総務担当）	・当面は景気は現状を維持する。
	□	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・今後も現在の生産水準を維持し、時間外労働の増減もない。
	□	鉄鋼業（総務担当）	・大きな環境変化はなく、景気は変わらない。
	□	鉄鋼業（総務担当）	・今後も受注や生産は堅調に推移する。
	□	非鉄金属製造業（業務担当）	・当面は現在の状況が継続する。
	□	一般機械器具製造業（総務担当）	・今後も受注量や販売量に変化はない。
	□	一般機械器具製造業（管理担当）	・新型コロナウイルス第6波や世界的な物流の停滞が懸念されるため、景気は良くならない。
	□	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・世界的な物流の混乱や新型コロナウイルス新変異株の影響もあり、身の回りの景気が良くなると判断できる状況ではないが、サプライチェーンの改善に注力しているため、大幅に悪化することもない。
	□	輸送業（総務・人事担当）	・2022年春以降、新型コロナウイルスの新規感染者数が増加するかどうかが景気を大きく左右するが、現状では景気は変わらない。
	□	金融業（融資企画担当）	・半導体不足の影響は弱まったが、しばらくは地元完成車メーカーの国内生産が定時操業をやや下回る水準にとどまるため、系列の地元部品メーカーの工場の稼働率も余り上昇しない。
	□	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、今後も受注が増加しない。
	□	会計事務所（経営者）	・新型コロナウイルス第6波の影響が少なければ、総務系アウトソーシング業務や補助金コンサルティング業務の増加傾向が続く。
	▲	農林水産業（従業員）	・新型コロナウイルス新変異株の拡大で、景気はやや悪くなる。
	▲	木材木製品製造業（経理担当）	・今後、全ての調達コストが更に上昇すると見込まれるため、上昇したコストの販売価格への転嫁がどれだけ進むかが課題となるが、全体的にインフレが進む結果として、景気はやや悪くなる。
	▲	金属製品製造業（総務担当）	・入手が困難になっている鉄の原材料の価格や電力料金の上昇が続けば、景気はやや悪くなる。
	▲	電気機械器具製造業（総務担当）	・電子部品の仕入れの困難な状況が続き、価格が上昇していることが、製造原価や生産体制に大きな影響を与えているため、景気はやや悪くなる。
	▲	建設業（経営者）	・建設材料の価格が上昇傾向にある一方で、競争により建設工事の受注金額が低下していることから、景気はやや悪くなる。
	▲	金融業（貸付担当）	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染拡大が懸念されており、行動自粛や経済活動停滞につながりかねない。既に海外との往来も制限されており、インバウンド需要も引き続き期待できない。
	×	建設業（総務担当）	・資材価格の高騰が長期化する一方で、販売価格への転嫁がなかなか進まないことから、状況は厳しく、今後、景気は悪くなる。
雇用 関連 (中国)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染が広がらなければ、求職者の安心感も広がり、景気が上向いていく。
	○	人材派遣会社（経営戦略担当）	・求職者のマインドが改善してくれば、景気はやや良くなる。
	○	人材派遣会社（支店長）	・新卒入社や中途採用の計画を聞く機会が増加している。新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きに伴い、採用活動が再開し、長期化する。
	○	求人情報誌製作会社（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の動向次第であるが、飲食業やサービス業の景気は現状より良くなる。

○	求人情報誌製作会社（広告担当）	・新型コロナウイルス新変異株の動向次第であるが、現状を維持できれば、ヒト・モノも動き始め、景気はやや良くなる。
○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの感染状況に左右されるが、世の中が徐々に活気を取り戻しているため、今後、景気はやや良くなる。
○	職業安定所（所長）	・国内での新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたことから、宿泊業で年末年始やカニシーズンに向けた求人数が増加した。また、旅館に食品を卸している事業者の求人が増員されるなど明るい兆しがあることから、景気はやや良くなる。
○	民間職業紹介機関（職員）	・全額現金給付が可能となった子育て世帯への臨時特別給付金が消費に回ると、個人消費が底上げされるため、景気はやや良くなる。
○	学校〔大学〕（就職担当）	・3回目のワクチン接種が進み、新型コロナウイルス対策も確立されつつあるので、景気はやや良くなる。
□	職業安定所（雇用関連担当）	・新型コロナウイルス新変異株による新型コロナウイルスの新規感染者数の増加、物流費や仕入価格などコストの上昇が懸念される。上昇したコストの製品への価格転嫁や労働者の賃金上昇の流れができるかが不透明であるため、景気は良くならない。
□	職業安定所（事業所担当）	・小売業や飲食サービス業からの新規求人数が若干ではあるが増加しつつあるものの、先行きに不透明感を感じている事業者も多くなっている。新規学卒等の就職面接会への事業所の参加状況をみると、多くの事業所が若い人材を雇用し、将来を見据えた採用活動を行っていることがうかがえる。こうしたことから、年齢的なミスマッチが発生しており、景気の回復には、もう少し時間を要する。
□	民間職業紹介機関（人材紹介・派遣担当）	・新型コロナウイルス新変異株の動向次第であるが、現状では景気は変わらない。外国人の入国制限が解除されれば、一定の企業の人手不足の解消につながる。
□	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・現時点では、企業側の新卒採用意欲に大きな変化はなく、景気は横ばい状況が続く。
□	その他雇用の動向を把握できる者	・新型コロナウイルス第6波に対する警戒感が強く、先行きが不透明なため、景気は良くならない。
▲	人材派遣会社（支社長）	・人材サービス会社が得意とするルーチン業務の求人数が回復しておらず、今後も回復する見込みがないため、景気はやや悪くなる。今後は専門職やITテクノロジーを扱える人材でないニーズが少ない。
×	—	—